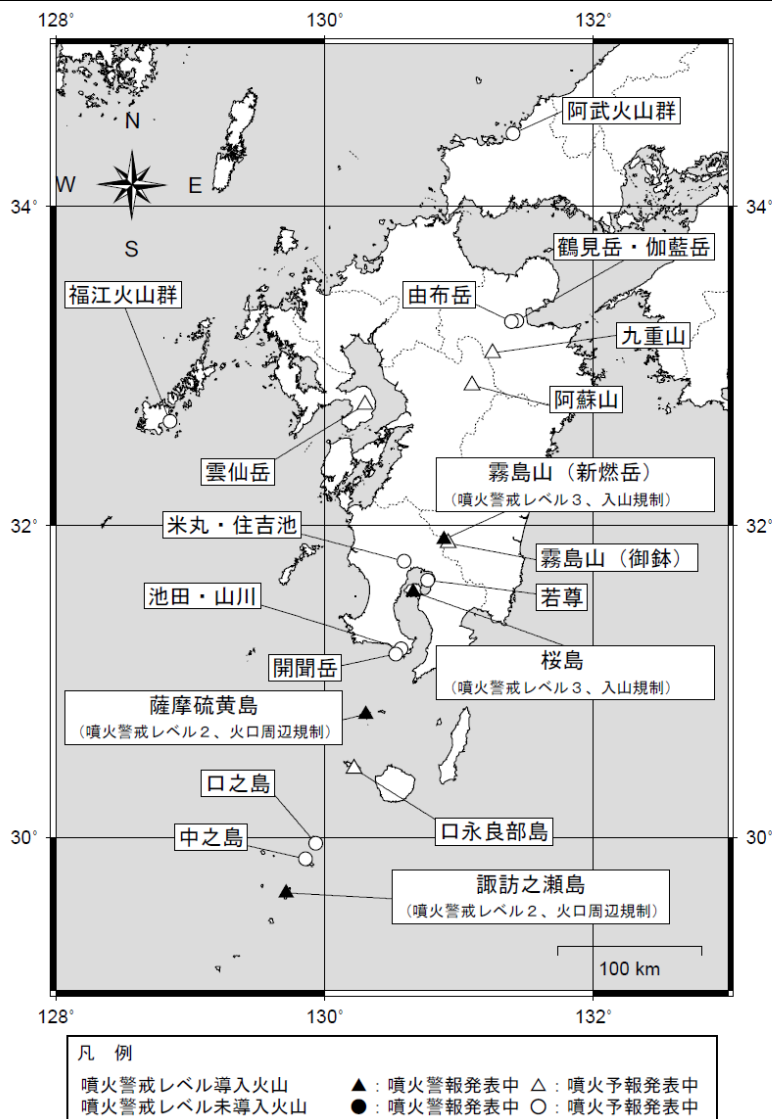


管内月間火山概況（平成 24 年 1 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（1月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル3（入山規制）	霧島山（新燃岳）、桜島
	レベル2（火口周辺規制）	薩摩硫黄島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル1（平常）	九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢） 口永良部島
	平常	阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、 米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、 中之島



※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山に導入されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。次回の管内月間火山概況（平成 24 年 2 月分）は平成 24 年 3 月 8 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、鹿児島県及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

各火山の活動状況及び予報警報事項

口永良部島では、20 日に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

あそさん 阿蘇山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、火口内では土砂や火山灰を噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした。

新燃岳の北西地下深くのマグマだまりへのマグマの供給に伴う地盤の伸びは昨年 12 月頃から鈍化・停滞しています。マグマだまりに蓄積された多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。

新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径 4 cm 程度の小さな噴石（火山れき）が新燃岳火口から 10 km を超えて降りました。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥石流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

きりしまやま おはち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）]

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

さくらじま 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

昭和火口では、爆発的噴火が 172 回発生し、大きな噴石が 3 合目まで達する等活発な噴火活動が継続しました。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

さつまいおうじま 薩摩硫黄島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

くちのえらぶじま

口永良部島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）] ←20日に噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）に引き下げ

口永良部島では、2011 年 12 月 11 日から火山性地震が多い状態となりましたが、12 月 25 日から、緩やかに減少し、2012 年 1 月 5 日以降は少ない状態で経過しました。その他のデータには、特段の変化は認められませんでした。これらのことから、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められなくなったと判断し、20 日 11 時 00 分に噴火予報を発表し、噴火警戒レベルを 2（火口周辺規制）から 1（平常）へ引き下げました。

火山活動は静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。ただし、新岳火口内では噴気活動が続いており、火山灰等の噴出する可能性があります。また、火口付近では火山ガスに対する注意が必要です。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳（おたけ）火口では、12 日に爆発的噴火が 1 回発生するなど、噴火活動は活発に経過しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報警報事項に変更はありません。